

### 3. 物性

#### 3.1 材料のフレッシュ性状

##### 3.1.1 可使用時間

###### 【試験方法】

温度 5～40℃の室内において、セメフォースアンカーのカートリッジに専用水を加え攪拌し、その後カートリッジをハンドガンに取り付け、ハンドガンから排出可能な時間を測定した。

###### 【試験結果】

表3-1 セメフォースアンカーの可使用時間

専用水	専用水温度	気温					
		5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
寒中期赤水 可使用時間	5℃	30～50分	20～40分	15～25分	-	-	-
標準期青水 可使用時間	20℃	120分以上	40～60分	30～50分	20～40分	15～25分	-
	20℃以下冷却	-	-	-	-	25～35分	20～30分

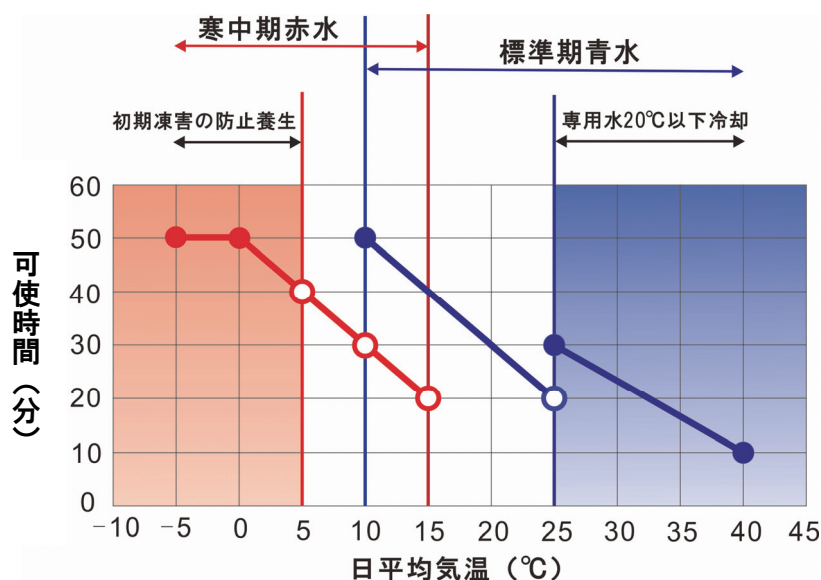


図3-1 セメフォースアンカーの可使用時間

###### 【まとめ】

カートリッジからのセメフォースアンカーの排出可能時間(可使用時間)は、上記条件において、15分以上であった。